

葛飾区

「木根川小学校学校地域応援団」の学校支援の取組について

特徴

平成20年度から「学校地域応援団」として事業を実施しています。保護者による算数授業の補助や朝学習の見守り、夏季水泳指導、地域の方の協力による農園活動やゲストティーチャーなど、様々な学校教育への支援を実施しています。また、コーディネーターの業務を5人で分担し、事業の継続性を踏まえた運営を行うなど、葛飾区における学校地域応援団事業を牽引しています。

● 主な活動内容（平成22年度）

- 学習支援
 - 算数ドリル学習の丸つけ、図書の読み聞かせ、地域の歴史を学ぶ授業、地域と連携したエコキャップの回収及び報告会、早朝自習時間の見守り、夏季水泳指導、九九・運動会競技用のCD作成
- 教育環境の整備
 - 学校図書館整備、畑づくり・田んぼづくり



夏季水泳指導

● 地域の機関・団体との連携協力

自治町会、青少年育成地区委員会、同窓会などが連携協力し、ボランティアや、ゲストティーチャーとして活動に参加しています。

● 地域ボランティアやコーディネーターの活動状況

平成22年度は、年間延べ2,700名以上の区民がボランティアとして活動に参加しました。保護者は、学習支援や教育環境の整備のボランティアとして、地域の方は、スキルを活かした畑・田んぼづくりや昔遊びの講師、地域の歴史を伝える授業のゲストティーチャーとして活躍しています。木根川小学校を卒業した中学生も地域の大人と一緒に、水泳指導の補助や畑の維持・管理の活動に参加するなど豊富な人材が多様な活動を支えています。コーディネーターは、地域の会議で学校地域応援団活動のPRや、ボランティア募集をしながら地域との絆を深めています。また、学校に設置した連絡ボードを活用することで、教職員との連携を図り協力体制を築いています。

● 取組の効果について

様々な学校地域応援団活動に保護者や地域の方が参加することで、学校が身近な存在となり、教育環境の改善や充実についてのアイデアを出し合うなど、地域全体で学校を支える意識の高まりが見られています。学校長は「畑や田んぼの作業活動を通じ、子供は、普段接している方が素晴らしい知恵を持っていることを知り、自然と『畑の先生』と呼び、その技術を学ぶ姿が見られます。保護者は、一緒に作業を行う中で、農業に関わる話を多く聞くことができます。また、指導者も仲間から色々な知識を得る努力をして、子供や保護者に教えます。このように農作業体験を通して、子供、保護者、地域の方との交流が深まり、新たな学びの機会となるとともに、地域の中の学校という意識の変化が見られます。」と話されました。



種イモ植え